



アレルギー性疾患治療剤  
日本薬局方 クロルフェニラミンマレイン酸塩散

# ネオレスタミンコーワ散1%

## NEORESTAMIN KOWA POWDER 1%

貯法：室温保存  
使用期限：外箱等に表示

承認番号	22000AMX01839
薬価収載	2008年12月
販売開始	1953年5月
再評価結果	1975年12月

### 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- (1)閉塞隅角緑内障の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。〕
- (2)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者〔抗コリン作用による膀胱平滑筋の弛緩、膀胱括約筋の緊張により、症状を増悪させるおそれがある。〕
- (3)低出生体重児・新生児〔中枢神経系興奮など抗コリン作用に対する感受性が高く、痙攣など重篤な反応があらわれるおそれがある。〕
- (4)本剤の成分又は類似化合物に対し過敏症の既往歴のある患者

### 組成・性状

販売名	ネオレスタミンコーワ散1%
成分・含量	1g中 クロルフェニラミンマレイン酸塩 10mg
添加物	トウモロコシデンプン、乳糖
色調・剤形	白色・散剤

### 効能・効果

じん麻疹、血管運動性浮腫、枯草熱、  
皮膚疾患に伴う痒痒(湿疹・皮膚炎、皮膚痒痒症、薬疹)、  
アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、  
感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽

### 用法・用量

通常、成人は1回0.2～0.6g (dl-クロルフェニラミンマレイン酸塩として2～6mg)を1日2～4回経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 使用上の注意

#### 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)開放隅角緑内障の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。〕
- (2)眼内圧亢進のある患者〔抗コリン作用により眼内圧が上昇し、症状が増悪するおそれがある。〕
- (3)甲状腺機能亢進症の患者〔抗コリン作用により症状が増悪するおそれがある。〕
- (4)狭窄性消化性潰瘍、幽門十二指腸通過障害のある患者〔抗コリン作用により平滑筋の運動抑制、緊張低下がおこり、症状が増悪するおそれがある。〕
- (5)循環器系疾患のある患者〔抗コリン作用による心血管系への作用により、症状が増悪するおそれがある。〕
- (6)高血圧症の患者〔抗コリン作用により血管拡張が抑制され、血圧が上昇するおそれがある。〕

#### 2. 重要な基本的注意

眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には**自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意**すること。

#### 3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法
中枢神経抑制剤	相互に作用を増強することがあるので減量するなど慎重に投与すること。
MAO阻害剤	中枢神経抑制作用は増強され、また抗コリン作用による副作用が増強されることがあるので、減量するなど慎重に投与すること。
アルコール	飲酒により相互に作用を増強することがあるので、用量を調節するなど注意すること。

薬剤名等	臨床症状・措置方法
ドロキシドパ ノルアドレナリン	血圧の異常上昇をおこすおそれがある。

#### 4. 副作用

##### (1)重大な副作用

再生不良性貧血、無顆粒球症(0.1%未満)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

##### (2)その他の副作用

	5%以上又は頻度不明	0.1%～5%未満	0.1%未満
過敏症※	発疹等		
泌尿器	多尿、排尿困難等		
精神神経系	神経過敏、頭痛、 焦燥感、複視	眠気等	
消化器	口渇、胸やけ等		
肝臓	肝機能障害(AST (GOT)、ALT(GPT)、 ALPの上昇等)		
血液			血小板減少等

※症状があらわれた場合には投与を中止すること。

#### 5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

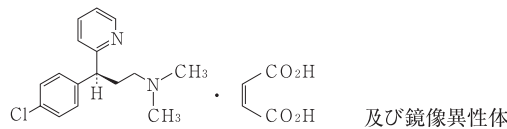
#### 6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に投与する場合には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。  
〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

### 有効成分に関する理化学的知見

一般名：クロルフェニラミンマレイン酸塩 (Chlorpheniramine Maleate)  
化学名：(3RS)-3-(4-Chlorophenyl)-N,N-dimethyl-3-pyridin-2-ylpropylamine monomaleate

構造式：



分子式：C<sub>16</sub>H<sub>19</sub>ClN<sub>2</sub>・C<sub>4</sub>H<sub>4</sub>O<sub>4</sub>

分子量：390.86

融点：130～135℃

性状：白色の微細な結晶である。酢酸(100)に極めて溶けやすく、水又はメタノールに溶けやすく、エタノール(99.5)にやや溶けやすい。希塩酸に溶ける。水溶液(1→20)は旋光性を示さない。

\*包装 500g

#### \*文献請求先及び問い合わせ先

興和株式会社 くすり相談センター  
〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14  
電話 0120-508-514  
03-3279-7587  
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売元 興和株式会社 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14